

コンセンサス・デザイン・フォーラム 2016

地方創生は「現場」から!!
「対話と協働によるまちづくり」の現場
でがんばる人たちが集まり、支援し合う
最高の出会いの場!!

「牧之原市の進化」、「氷見市の先進」を
ファシリテーター市長のファシリテーションで体感!

2016年 **1月13日** (水)
13:30~17:30 (開場13:00)

無料

日本財団ビル2階会議室
(東京都港区赤坂1-2-2)
定員80名

地域自慢の写真を1枚(A4程度)ご持参ください

主催:三菱UFJリサーチ&コンサルティング コンセンサス・デザイン室
後援:日本財団、早稲田大学マニフェスト研究所
協力:牧之原市 まちづくり協働ファシリテーター、茶々若会
(社)サステナビリティ・ダイアログ



プログラム ※全体進行:牧之原市まちづくり協働ファシリテーター

1. 開会・アイスブレイク
2. 趣旨説明・前回の振り返り
3. グラフィック・チーム紹介
4. サロンの進め方・自己紹介

グラフィック・ハーベスティング・チーム 牧原ゆりえさん(サステナビリティ・ダイアログ代表理事)、絹村亜佐子さん(牧之原市)、遠藤優子さん(氷見市)、浜手千悠さん(氷見市)、佐々木絵理さん(弘前市)、青波ゆみこさん(神戸市)、小柳明子さん(山口市)、椎野あゆみさん(小田原市)、梯愛依子さん(古賀市)、長田誠司さん(志木市)

5. 基調講演・ミニサロン ※牧之原市の男女協働サロン形式での対話

「日本の”民主主義を鍛える”地域での実践」

北川正恭 氏(早稲田大学名誉教授)

<Fika 休憩> 「気づきの木」を育てよう

6. セッション①

「それぞれのアクション ~対話と宣言」

ファシリテーター: **西原茂樹** 氏(牧之原市長)

■話題提供者

本川祐治郎さん(氷見市長)、佐藤淳さん(青森中央学院大学准教授)、加藤彰さん(牧之原市職員)、谷内博史さん(氷見市職員)、日下智子さん(新地町民・NPO法人みらいと)、福島まり子さん(さいたま市民)、絹村亜佐子さん(牧之原市民)、遠藤優子さん(氷見市職員)、佐々木絵理さん(弘前市職員)、横田浩一さん(慶應義塾大学特任教授)、池ヶ谷祐太さん(牧之原市民)、川上文浩さん(可児市議会議員)、高田康太さん(ミライカレッジ高田)、反町恭一郎さん(群馬県職員)、前川倫章さん(南あわじ市職員)

<Fika 休憩> 「気づきの木」をさらに育てよう

7. セッション②

「いま何をしたいですか ~次の一歩へ」

ファシリテーター: **本川祐治郎** 氏(氷見市長)

8. グラフィック・ハーベスティング

9. 講評

10. 閉会



【お問合せ・お申込み】 下記のWEBフォームよりお申し込みください。
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 コンセンサス・デザイン室
URL: <http://www.murc.jp/corporate/virtual/cdi>

■コンセンサス・デザイン・フォーラムとは ～対話と協働によるまちづくりに向け

人口減少社会に突入し、都市の消滅可能性も危惧される中、それぞれの地域が国に頼ることなく、知恵と工夫を凝らし、自己決定・自己責任でまちづくりを進めていくことが強く求められています。その主役は、市民です。市民同士で対話し、合意(コンセンサス)を形成しながら、協働によって地域の未来をかたちづくることになれば、真にゆたかな地域は生まれません。私たちは、このように対話と協働により、市民が主体的に合意形成をしながら地域のまちづくりを行うことを、「市民コンセンサス」と呼んでいます。このような「市民コンセンサス」をテーマとして、フォーラムそのものをコンセンサス形成型で行う画期的なイベントとして、2015年1月15日に「コンセンサス・デザイン・フォーラム2015」を開催しました。

■「牧之原の進化」水見の先進」～ファシリテーター市長のファシリテーションを体感

本フォーラムで再現したのは、牧之原市で行われている「男女協働サロン」。その後、牧之原市では、ワークショップにグラフィックを取り入れ、市民グラフィッカーが活躍するなど、大きな進化を遂げました。また、水見市では、「ハードからソフトへ、ソフトからハードへ」を合言葉に、さまざまなキヤンペーンを巻き込みながら市民的議論を繰り広げて注目を集めています。これらの日本の地方創生を牽引するファシリテーター市長に、ファシリテーションを行っていただくセッションを組み込みました。

■次のアクションに向けて ～地域でがんばる人たちの最高の出会いの場

今回のテーマは「アクション」です。今回も、牧之原市のまちづくり協働ファシリテーターのファシリテーションで、来場者を変えた対話を行います。また、市民グラフィッカーを変えたグラフィック・ハーベスティング・チームを結成し、さらにパワーアップしたグラフィックコーディングを行うとともに、それらを用いてフィードバックするを行います。こうした仕掛けを駆使しながら、対話(ダイアログ)の重要性を早くから唱えられている北川先生にお越しいただき、次のアクションに向けて対話を深めていきます。

全国の地域でがんばる人たちが集い、支援し合う最高の出会いの場にしたいと思っております。みなさまのご参加をお待ちしております。

コンセンサス・デザイン室

(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

従来型の合意形成は、結論ありきの運営や対立関係が解けないままの妥協・意見調整による議論の決着が行われている場合が多い。

それに対して、ステークホルダー同士が前向きに未来志向で参画することにより、想定より高次元レベルの結論を導くことを「ポジティブ・コンセンサス」と呼ぶ。

コンセンサス・デザイン室では、「ポジティブ・コンセンサス」実現に向けて、新たな手法・ノウハウを実践・開発し、社会的なイノベーションを伴う新たな政策の立案・実施を推進している。

基調講演・ミニサロン「日本の”民主主義を鍛える”地域での実践」 ※牧之原市「男女協働サロン」を再現します。



北川正恭氏
(早稲田大学名誉教授)

1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)、1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年、三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。2003年4月より早稲田大学政治経済学術院教授。2015年3月に退任。現在、早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問。「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)共同代表。2009年地域主権戦略会議構成員。

●「対話と協働によるまちづくり」の実践がもたらす意義について、北川先生のお話をもとに、牧之原市の男女協働サロン形式で対話を行いながら学びを深めます。

牧之原市「男女協働サロン」

牧之原市自治基本条例に位置づけられた、自由な立場でまちづくりに対して意見交換できる対話の場。「気軽に、楽しく、中身濃く」をモットーとしている。運営・進行は、市民の「まちづくり協働ファシリテーター」が行う。



セッション①・② 日本の地方創生を牽引するツートップ「ファシリテーター市長」によるファシリテーション



西原茂樹氏
(牧之原市長)

①「それぞれのアクション ～対話と宣言」

●地域でがんばる人が、各テーブルで話題提供者として立ち、参加者との対話を通じて学び合い、支え合います。

金沢大学工学部卒業。相良町議会議員、静岡県議会議員を経て、2005年10月に初代牧之原市長に就任。「市民が主役」の理念に基づき、市民参加のワークショップによる「男女協働サロン」を推進。市民が「学び」「気づき」「共感し」「支援しあう」まちづくりに取り組む。「津波防災まちづくり」で第8回マニフェスト大賞(市民部門)グランプリ、第10回マニフェスト大賞(首長部門)グランプリ受賞。現在3期目。



本川祐治郎氏
(水見市長)

②「いま何をしたいですか ～次の一歩へ」

●今の気持ちが近い人たち同士で気持ちをあたため合い、パワーを感じ合いながら、次の一歩をつむぎ出します。

早稲田大学商学部卒業。衆議院議員秘書を務めた後、帰郷。商工会議所職員、家業経営、プロファシリテーターを経て、2013年4月、水見市長に就任。フューチャーセンターを備えた学校体育館リノベーション庁舎を完成に導き、「市民と行政がともに政策を創る」市政運営を進め、第9回マニフェスト大賞(首長部門)優秀賞受賞。現在1期目。

話題提供者 ※さまざまな立場でまちづくりの現場で奮闘する実践者が話題提供者となり、参加者との対話により学びを深めます。



水見市において、ファシリテーター市長として、「つばやき」を形に「つばやき」を掲げ、市民と徹底的に対話するまちづくりを先導している。
本川祐治郎さん
(水見市)



「議会に対話の文化を定着させるには」
対話によるまちづくりの専門家として全国の飛び回る。青森中央学院大学准教授、早大マニフェスト研究所招聘研究員。
佐藤 淳さん
(青森市)



「対話から希望へ、対話を政策につなげるには？」
コミュニティ・シンクタンク、七尾市等の勤務を経て、2015年より水見市職員。市民参加の場でファシリテーターを担う。
谷内博史さん
(水見市)



「復興につながる、まちづくり参加の一歩」
震災で町の約5分の1が被災した新地町で、今年復旧予定の新地駅で新たに町民参加のまちづくり事業などの活動を推進。
日下智子さん
(新地町)



牧之原市で約10年にわたって、対話と協働によるまちづくりをゼロから推進してきた立役者。牧之原市政策創生専門監。
加藤 彰さん
(牧之原市)



「朽ちるインフラ～市民が市民に伝えたい」
さいたま市で公共施設マネジメントに市民委員として関わる。マンガやパン作りワークショップにも参加、HPで情報発信中。
福島まり子さん
(さいたま市)



「まちづくりへの興味ゼロ～市民グラフィッカーへ」
牧之原市の「茶々若会」メンバー。市民グラフィッカーとして、グラフィックコーディングやハーベスティングに大活躍。
絹村亜佐子さん
(牧之原市)



「市民協働を目指す一年生議員の徒然日記」
東日本大震災の復興支援活動でフューチャーセッションに出会う。水見市職員としてオープンなコミュニティづくりを志す。
遠藤優子さん
(水見市)



「組織と地域に対話の文化を広めたい」
学生のときから協働に関心を寄せ、現在弘前市市民協働政策課職員として、対話と協働によるまちづくりの推進に奮闘中。
佐々木絵理さん
(弘前市)



「若者よその力を最大限活用するためには」
横田アソシエイツ代表取締役・慶應義塾大学特任教授。共著に「ソーシャル・インパクト」など。
横田浩一さん
(シブヤ区/水見市で
中野アソシエイツ)



「そこに住む市民が自分ごとになる楽しい対話」
牧之原市の「茶々若会」会長。地元牧之原市にリターンし、農業に従事しながら、市民ファシリテーターとして活動中。
池ヶ谷祐太さん
(牧之原市)



「地方創成における地方議会の役割」
議長を2期連続で務め、議会改革を推進し進める中で高校生やNPO団体と地域課題を解決する懇談会を主催し政策に反映している。
川上文浩さん
(可児市)



「緊急指令！地方の人口減を食い止めよう！」
「町おこし系婚活プロデューサー」として地方自治体の少子化対策を支える。口癖は「結婚はゴールではなく、スタート」。
高田康太さん
(品川区)



「オフサイト活動で行政と地域の境目をなくす」
元ミュージシャン。2011年から群馬県職員。地域住民や行政職員が越境して「セッション」する自主活動を支援。
反町恭一郎さん
(高崎市)



「市民協働のため庁内の協働意識醸成を」
南あわじ市職員。新たな施策である市民協働を庁内外に根付かせることができるよう対話の場づくりに日々奮闘中。
前川倫章さん
(南あわじ市)

グラフィック・ハーベスティング・チーム ※壁一面を使ってフォーラムの内容をグラフィックで記録し、ハーベスティング(フィードバック)します。



牧原ゆりえさん【チームリーダー】(サステナビリティ・ダイアログ代表理事) 絹村亜佐子さん(水見市) 遠藤優子さん(水見市) 浜手千悠さん(水見市) 佐々木絵理さん(弘前市) 青波ゆみごさん(神戸市) 小柳明子さん(山口市) 椎野あゆみさん(小田原市) 梯愛依子さん(古賀市) 長田誠司さん(志木市)